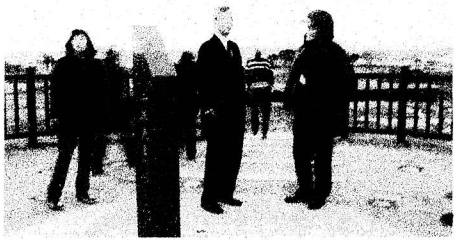
東日本大震災被災地から学ぶ！シンポジウム

日頃の地域活動を防災・減災につなげる



（左）福山市社協が市内の地域団体等の関係者へ呼びかけて被災地を視察。写真の宮城県岩沼市「千年希望の丘」。　（中）福山フラワーライオンズと５つのライオンズクラブが３０００冊の本を被災地へ届けて喜ばれました。　（右）広島県印刷業組合福山支部“価値組委員会”が今年も「笑顔の壁掛けカレンダー」を被災地へプレゼント。

災害発生時には，まず「自分の身は自分で守る」という自助の精神，そして「自分たちの地域は自分たちで守る」という互助の精神が，被害を軽減するためにとても重要であると言われています。東日本大震災を経験した宮城県岩沼市，今年，台風被害を受けた滋賀県高島市の地域づくりの事例と福山市内の地域・団体の取り組みを紹介する中で，日頃の何気ない地域活動が「いざ」という時にいかに大切かをみなさんと一緒に考えます。

○とき　2014年（平成26年）

３月２日（日）13:00～16:30

○ところ　福山すこやかセンター
１階多目的ホール

○参加費　　無　料

○募集人数　１５０人（先着順）

○対　　象

学区の福祉を高める会，学区ボランティアの会，自治会・自主防災組織役員，民生委員，福山市ボランティア連絡協議会・福山ボランティア赤十字奉仕団などボランティア団体・ボランティア個人，福山市社協特別会員・賛助会員ほか関心のある方ならどなたでも

○参加方法

電話かＦａｘで「シンポジウム希望」と明記の上，お名前・電話番号・所属（あれば）をお知らせください。

主催　社会福祉法人　福山市社会福祉協議会

≪プログラム≫

□オープニング

□シンポジウム　パート①

「いつどこで起こるかわからない
災害に私たちは何を備えるのか」

○千葉　俊夫さん
（岩沼市社会福祉協議会　事務局長）

○藤原　　恵さん
（雄勝の復興を応援する福山の会代表・医師）

□シンポジウム　パート②

「日頃の地域活動を防災・減災につなげる」

○青山奈保美さん
（岩沼市社会福祉協議会　事業課　主事）

○井岡　仁志さん
（高島市社会福祉協議会　法人本部地域支援課長）

○福山市内の地域福祉活動実践者

コーディネーター　山下　弘彦さん
（日野ボランティアネットワーク　事務局）

☆申込み・問い合せ先　福山市社会福祉協議会（福祉のまちづくり課）
〒720－8512　福山市三吉町南2－11－22　TEL０８４－９２８－１３３３　FAX０８４－９２８－１３３１
E-Mail　：　f-shakyo@blue.ocn.ne.jp